

震災や成長つづる

星さん（福島小）から最優秀

福島民報社が主催した第二回「私と新聞」親子作文コンクールの入賞作品が決まった。最優秀賞には小学生「子の部」が星真白（ましろ）さん（こ）福島市・鎌田小五年、小学生「親の部」が藤井万里子さん（つむぎ）小野町、中学生「子の部」が阿部聖人（まさと）君（こ）郡山市・郡山一中三年、中学生「親の部」が松本由美子さん（ゆみ）会津若松市、中学生の作品が選ばれた。最優秀賞の表彰式は二十四日、福島市の民報ビルで行われる。

24日福島で表彰式

新しい学習指導要領に基づき授業での新聞活用が広がっているのに合わせ、家庭で紙面に親しむ環境づくりを進めてもらうのが目的。福島民報社が展開する「読む 知る 学び」の「震災と新聞」なぶ『E!新聞』プロジェクトの一環で、県、小中学生と保護者を対象に「新聞との関わり」「震災と新聞」などのテーマで作品を募集。福島民報社の浜津三千雄取締役編集・地域交流・論説担当、県

小学生「子の部」「親の部」
中学生「子の部」「親の部」



星 真白さん



藤井万里子さん



阿部 聖人君



松本由美子さん



教育庁県北教育事務所
の横山貴英指導主事ら
が審査した。

最優秀賞に選ばれた
星さんは投書のスクラ
ップで自らの成長を振
り返る楽しさを表現。
藤井さんは東日本大震
災の翌日も新聞が届い

た感動をつづった。阿部君は新聞から学ぶ言葉の力について書き、松本さんは震災を機に記事の切り抜きが途絶えた時の心境を表した。いずれも身近な存在としての新聞への親しみが描かれ、震災に関する作品も目立った。最優秀賞、優秀賞の十二点はワイド面の連載で紹介する。（11面に作品）

最優秀賞以外の受賞者

- ◇小学生「子の部」▽優秀賞▽首野悠羽（保原）角田祥子（古殿）▽入選▽藤井万希子（浮金）斎藤詠美（棚倉）山崎優子（森合）三浦大祐（柴宮）福田穂乃佳（日新）
- ◇小学生「親の部」▽優秀賞▽星かよ（福島）扇厚子（郡山）▽入選▽橋本由香里（三春）斎藤雅彦（棚倉）鹿又恵美、菅野智華咲（伊達）山崎逸子（福島）
- ◇中学生「子の部」▽優秀賞▽松本耕太郎、渡部由佳（若松）▽入選▽高久真帆、目黒東沙（若松）阿部菜紅（郡山）
- ◇中学生「親の部」▽優秀賞▽阿部美代子（郡山）渡部靖子（会津若松）▽入選▽渡部宏美、仲丸里美、小島小夜子、根本しげ子、鷲尾一美（会津若松）
- ◇親子賞▽小学▽星かよ・真白（福島）藤井万里子・万希子（小野）▽中学▽阿部美代子・聖人（郡山）松本由美子・耕太郎（会津若松）
- ◇学校賞▽小学▽中央台東▽中学▽若松一